

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こっこと片町		
○保護者評価実施期間	令和8年1月25日		～ 令和8年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年1月25日		～ 令和8年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週末にイベントを開催し、集団活動の練習のみならず様々な分野に触れることができる機会が多いこと。	イベント内容に偏りが出ないように、クッキング、運動、プログラミング、製作等、さまざまな分野のイベントを企画している。	保護者様や子ども自身の意見も取り入れて、施設利用者のニーズに沿ったイベント開催を心がけていく。
2	安心してご利用いただけるよう、保護者様にLINEでのご様子配信やブログ・Instagramのおいてイベントのご様子を発信するなど、どのように利用しているかを分かりやすく公開していること。	送迎時にも保護者様とお話をする機会を設け、意見や相談を常に受け入れやすいように心がけている。またブログ・Instagramにおいては、イベント以外の療育や活動についても発信している。	引き続き、希望されるご家庭にはイベント以外のご様子も配信し、安心して施設を利用していただけるように工夫していく。
3	ニーズに沿って、専門療育のみならず多方面からの視点で一人ひとりに合わせたサポートを行っていること。	専門職員のみならず児童指導員もそれぞれに得意分野があり、意見を出し合うことで多方面からアプローチできるよう意識している。	日々知識拡充に精進し、多角的に子どものサポートができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士や地域での交流など、施設外の活動に参加する機会が少ないこと。	感染症対策やプライバシー保護の観点などから、地域での交流は難しい。	保護者様同士での交流に関しては、ニーズに寄り添い機会を設けていきたい。
2	利用希望の日数や時間に対し、ご希望に添えない場合があること。	継続的にご利用してくださっているご家庭が多く、多くの児童を受け入れているため、空きがない状態が続いている。	空き枠希望のご家庭には空きが次次第連絡し、年度末の調整時等、迅速かつ速やかに案内できるようにしていく。
3	緊急時の安全対策について、周知しきれていないこと。	終礼時にその日あった出来事などを共有し、安全に関する会議を毎月実施している。	保護者様に伝わるよう、ブログやLINEにて情報の発信を行っていく。